

哺育および育成技術の改善による若狭子牛の増体の向上 (R1~4年度)

現状

若狭子牛は増体が悪く、市場価格が低い

- * 日齢体重: 1.0kg/日以上必要
(市場出荷時の体重/日齢: 増体の目安)
- ・去勢 (1.0以上: 1.0未満=72.6万円: 62.6万円)
雌 (1.0以上: 1.0未満=67.3万円: 56.8万円)
1頭当たり10万円/頭の減収

原因

- ・初乳摂取不足→下痢、肺炎発症
- ・離乳時の飼料切り替え失敗→下痢発症
- ・不適切な増飼→下痢発症や栄養不足

課題

方法

- ・哺育期の免疫機能向上による疾病防止
- ・哺乳量の増量による増体向上
- ・育成期の栄養供給と腹作り

内容

若狭子牛の増体向上

去勢: 1.2 kg/日、雌: 1.1kg/日以上

1. 若狭牛繁殖農家の血液検査
 - ・若狭子牛の哺乳および育成状況
給与飼料の種類や給与量
 - ・血液検査による初乳摂取状況確認
2. 若狭子牛の増体向上試験
 - ①哺育試験(～90日齢)
 - ・強化哺乳ミルクの活用
 - ・甘草(カンゾウ)給与による免疫向上
 - ②育成試験(90日齢～市場出荷)
 - ・ビール粕給与による栄養供給と
胃腸機能改善

結果

- ・若狭子牛の増体向上
- ・若狭子牛の平均販売価格上昇

期待される効果

販売価格10万円/頭アップ

若狭子牛価格

10万円/頭 × 280頭

=2,800万円/年 増収

県内繁殖雌牛の増頭

県全体への繁殖基盤強化